

F★★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

防火材料認定品

NM-8585 不燃材料

QM-9816 準不燃材料

RM-9364 難燃材料



# ALES DYNAMIC MUKI

## アレスダイナミックMUKI

超耐候性超低汚染ハルスハイリッチ  
無機有機ハイブリッド塗料

# 無機・有機ハイブリッド テクノロジーが常識を覆す

関西ペイントのハイブリッドテクノロジーにより

「無機」と「有機」の特性を最大限に発揮させ

従来の最高位グレード「フッ素樹脂塗料」を超越。

「アレスダイナミックMUKI」は超長期耐久性と多彩な機能により

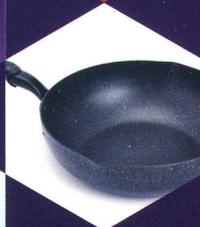
お客様の大切な住まいを過酷な環境から長期間護ります。

## — 有機フッ素 —

- 耐久性に優れる
- 焦げ付かない
- 歯を丈夫にする
- コーティング材への応用
- 様々なモノに加工ができる
- 過酷な環境で用いる



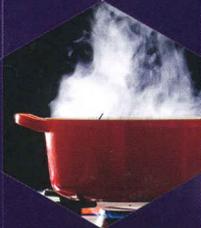
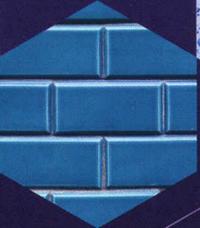
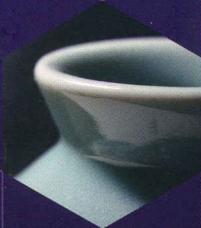
Organic  
有機フッ素  
イメージ



Inorganic  
無機  
イメージ

## — 無機系素材 —

- 固い
- 壊れにくい
- 丈夫
- 長持ち
- 半永久
- 色が落ちない
- 燃えない



# 究極のH.R.D.テクノロジー

ハイブリッドテクノロジーとラジカル抑制技術の高耐候機能と

ダイナミックレジン結合技術の優れた付着力により、塗膜の耐久性を最大限へと導きます。



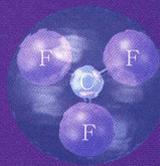
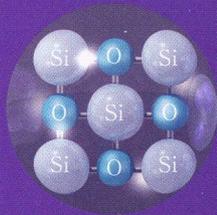
Hybrid technology

## 「無機」と「有機」ハイブリッド技術

「無機」の強靭さと「有機」の柔軟性、そしてフッ素レジン素材の保護機能を高効率で配合させることで優れた耐候性を発揮。

### 無機の優位性

太陽光(紫外線)や酸性雨など長年浴び続けても簡単に崩れない耐久性を持つ。



### 最高グレードのフッ素レジン

加工がしやすく柔軟性がありコーティングした素材を強力に保護する。

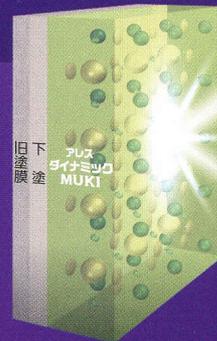


Radical control technology

## ラジカル抑制技術

4つの塗膜コントロール技術で、塗膜劣化の原因物質である「ラジカル」の発生を根本的に抑え塗料の耐候性を飛躍的に向上。

動画でチェック



### 高性能フッ素レジン

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能フッ素レジン」で紫外線劣化を阻止



### UVトラップ

「高性能フッ素レジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化



### HALSラジカルキャッチャー

極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは、HALSラジカルキャッチャーで捕獲し全て無害化



### ラジカルバリアコート

酸化チタンへの紫外線到達を阻止しラジカル発生を抑制



Dynamic technology

## ダイナミックレジン結合技術

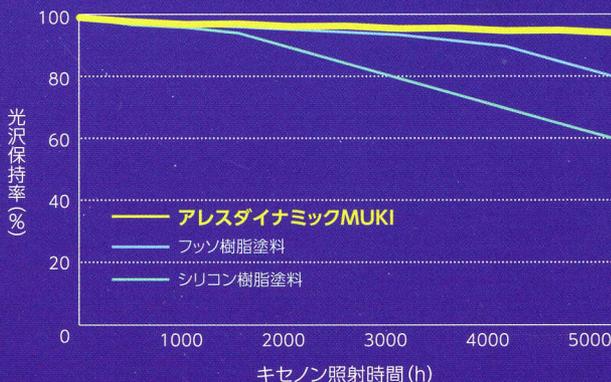
各結合基の超強力結合エネルギーをもたらすダイナミックレジン結合により、強固な塗膜形成と素材への付着力を発揮。



# 安心の超高耐候性とさまざまな機能

## 超高耐候性

■ 促進耐候性試験



## 強力な付着力

各結合基の超強力結合エネルギーをもたらすダイナミックレジン結合により、強固な塗膜形成と素材への付着力を発揮します。

付着性		付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	
塗料タイプ	アレスダイナミックMUKIシステム*	従来の微弾性下地調整材	
旧塗膜			
アクリルタイル	2.4	1.9	
単層弾性	2.0	1.7	

\*アレスダイナミック防水フィラーを下塗に使用

## 超低汚染

親水性の塗膜を形成することで、付着した汚れを雨水が流し落とします。雨だれ等を低減し建物の美観を維持します。

■ 屋外ばくろ6か月のΔL値



## 防カビ・防藻性

湿度の高い建物の北側などで発生しやすい、カビや藻の発生を抑制し、建物の美観を維持します。



## 水性で安全

「アレスダイナミックMUKI」は、水性塗料の1液システムですので周辺環境にもやさしく安心です。

## 弾性下地にも対応

固い特性をもつ無機を、弾性下地にも追従する柔軟性を持たせ、ひび割れに強い塗膜を形成します。

(※艶ありのみ対応)

## 良好な仕上がり

肉持ちあるしっとりした高級感ある質感が仕上りを良好に保ちます。

## 周辺環境への配慮

飛散が少なく、都市型高層住宅や住宅密集地に建つ住宅に適します。



KP-111



KP-110



KP-112



KP-223



KP-310



KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



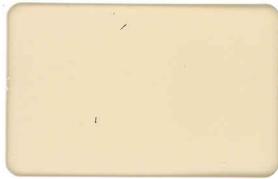
KP-127



KP-131



KP-80



KP-337



KP-336



KP-141



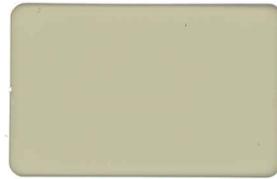
KP-247



KP-330



KP-147



KP-350



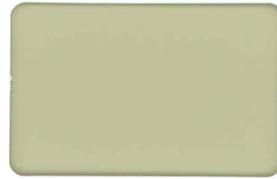
KP-75



KP-347



KP-150



KP-352



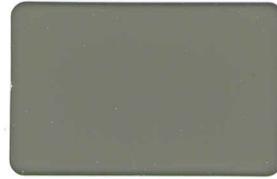
KP-70



KP-356



KP-357



KP-170



KP-50



KP-367



KP-167



KP-376



KP-385 ©

# ALES DYNAMIC MUKI

## 上 塗

アレスダイナミックMUKI (15kg, 4kg)

## 中 塗

アレスダイナミックMUKI中塗 (15kg, 4kg)



## 下 塗

アレスダイナミック防水フィラー (16kg)

## 【湿潤面用】

アレスダイナミック共通強化剤 0.08kg×1



### ■ アレスダイナミックMUKI 標準塗装仕様 適用下地 コンクリート・モルタル・ALC・窯業系サイディングボード・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損・シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。					
下 塗	アレスダイナミック防水フィラー	主材16kg	多孔質ローラー(細目) 多孔質ローラー(標準目)	0.50~1.50	1~5 <sup>※</sup>	乾燥面: 8時間以上7日以内 湿潤面: 16時間以上7日以内
中 塗	アレスダイナミックMUKI 中塗	主材15kg	ハケ・ローラー	0.12~0.14	0~8	2時間以上7日以内
上 塗	アレスダイナミックMUKI	主材15kg	ハケ・ローラー	0.12~0.14	0~8	—

※艶あり、7分艶、5分艶、3分艶とお好みの艶をお選びいただけます。 ※艶調整をご希望される場合は、下塗に「アレスダイナミックフィラー」又は推奨する各種シーラーをご使用ください。

※「アレスダイナミックMUKI」には専用の中塗を設定しております。 ※アレスダイナミックMUKIシリーズには4kgの設定をご用意しております。

※湿潤面塗装時の希釈は水分の巻き込みを考慮し、1~3%程度少なく調整してください。また、乾燥時間は乾燥面に比べ2~3倍程度乾燥が遅くなります。

### ■ 他に適用できる塗料

製品名	系 統	色	容 量		塗装間隔
アレスダイナミックフィラー	〈水性〉全天候形水性反応硬化形微弾性フィラー	白	主剤: 16kg	強化剤: 0.08kg	8時間以上
アレスダイナミックプラサフ	〈水性〉全天候形水性反応硬化形防水多機能プライマーサーフェーサー	白	主剤: 15kg	強化剤: 0.08kg	4時間以上
アレスダイナミックシーラーアークア	〈水性〉高性能多用途エポキシ樹脂下塗塗料	半透明	主剤: 12.5kg	硬化剤: 2.5kg	4時間以上
アレスダイナミックシーラーマイルド	〈弱溶剤〉高性能多用途エポキシ樹脂下塗塗料	白・透明	主剤: 12.5kg	硬化剤: 2.5kg	4時間以上

※「アレスダイナミックフィラー」、「アレスダイナミックプラサフ」は、強化剤もご使用いただけます。

※上記の他にも、アレス水性エポレジン・浸透形Mシーラー・マルチタイルコンクリートプライマーEPOなども使用可能です。

#### 【施工上の注意事項】

- ①「アレスダイナミックMUKI」は7分、5分、3分と艶調整が可能です。艶調整品をご使用の場合は下塗にシーラー又は弾性フィラーをご使用ください。
- ②塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。乾燥時間が少ない場合は強化剤をご使用ください。
- ③使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- ④PC板、押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマーEPO、浸透形Mシーラー)をご使用ください。
- ⑤軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- ⑥ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- ⑦合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- ⑧汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑨素材、旧塗膜の種類などの状態によって塗付量の増減があります。
- ⑩希釈率は、環境温度や湿度によって変化する場合があります。
- ⑪塗装用具などは、その日のうちに洗浄してください。(反応性塗料のため固まってしまう。)ハケ、中毛ローラーなどは水で落ちにくい場合、ラッカーシンナーを用いて洗浄してください。多孔質ローラーはシンナーで洗浄すると膨潤しますのでお湯で洗浄してください。
- ⑫本製品は湿潤面には対応しておりません。

#### 《ご使用上の注意事項》

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

#### 【予防策】

取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しない

#### ようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

#### 【対応】

目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

#### 【保管】

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手が届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

#### 【廃棄】

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

#### 【施工後の安全】

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

★★★★★  
超長期耐久

15年以上

↓↓  
強力な付着力

↓  
超低汚染

防カビ・防藻性

水性1液で安全

↔  
弾性下地にも対応

★  
★  
良好な仕上り

ALES  
DYNAMIC  
MUKI



MADE IN JAPAN

**関西ペイント販売株式会社**

 関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北関東信越 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(19年09月03刷PNA) カタログNo.846  
頒布価格 1,500円(税込)